

生体認証 でKeyless社 をサポート



KEYLESS

バイオメトリクスセクター

顔認証ソリューション部門

利用サービス
テスト

Keyless社について

Keyless社の次世代型生体認証は、バイオメトリクス・データを処理する必要がありません。ユーザーに対してパスワードレス認証を可能にする点において、GDPR(General Data Protection Regulation: 一般データ保護規則)を上回り、PSD2にも対応しています。デバイスにとらわれないソフトウェアにより、一貫した直感的なユーザー体験を提供することができます。

挑戦

Keyless社の目標は、ユーザーがあらゆるデバイスから、あらゆるデジタルサービスに安全にアクセスできるソリューションを開発することにあります。その一方で企業が個人データを一元的に保存、処理、管理する必要性を排除します。

Keyless社は、バイオメトリック・エンタープライズ・セキュリティ・プラットフォームのFIDOバイオメトリック・コンポーネント認証を取得する必要がありました。この認証は、ユーザーが確実に正しく認証され、不正な認証の試みを検出できることを示します。

”

FIDOバイオメトリック・コンポーネント認証のテストの実施には、生体認証分野で経験を積んだ信頼できるパートナーが必要です。Fime社はテストプロセスを通じて私たちを導き、深い技術的専門知識で私たちの質問にすべて答えてくれました。



Keyless社
共同創設者兼CTO
パオロ・ガスティ



Fimeが選ばれる理由



Fimeは、商品設計、配送、テスト方法についての確かな専門性を持ち合わせているため、より早くイノベーションを市場に投入することができます。



Fimeは FIDOアライアンス認証ワーキンググループの正会員です。



Fimeは変化に対応できるリソースと柔軟性をもってこのプロジェクトを完成させることができました。

お客様からのご要望

FIDOの認定を受けた世界で7社しかないベンダーの1社であるKeyless社は、自社の認証技術が世界的に認められたセキュリティとプライバシーの基準を満たしていることを確認したかったのです。この認証は、ユーザーにそのソリューションに対する信頼を提供します。

認証取得のためには、ユーザー認証および、なりすまし検出精度の業界標準に沿って、生体認証セキュリティ・プラットフォームの性能とプレゼンテーション をテストする必要があります。

GDPR規制を遵守する必要がありました。このテクノロジーは 個人データを利用するため、セキュリティとプライバシーは最大の関心事となります。

Fimeのソリューション

Fimeは、Keyless社のソリューションがFIDOの基準を満たしていることを確認するために、Keyless独自のテストプランを定義しました。また、デバッグ・セッションや認証に向けた文書作成もサポートしました。

PADテストには、写真や指紋、ビデオなど、一連の攻撃手段が組み込まれていました。Fimeは ソリューションがレベルAとBの両方のなりすましを高い信頼性でパスできるよう支援しました。これは、Keyless社の技術が生体認証性能に関する業界のセキュリティ基準をはるかに超えていることを示しています。

FIDOアライアンスの認証ワーキンググループの積極的なメンバーとして、Fimeは認証の厳しい要求について独自の洞察を提供することができました。

Fimeとの取り組み

プロジェクトを通して、Fimeが行ったこと。

- ・ 20年以上にわたる認証の専門知識を駆使し、Keyless社が、要求される試験と認証のプロセスを理解できるよう支援
- ・ FIDOの認証要件に関する貴重な洞察を提供
- ・ Keyless社のソリューションに特化したテストプランを作成

Making innovation possible.

グローバルな視点に立ち、コンサルティングと破壊的テストに関する専門知識を組み合わせることで、Fimeはお客様の決済バンキングおよび都市モビリティにまたがる、信頼できるデジタル決済エクスペリエンス・ソリューション開発と立ち上げを可能にします。

Fimeがお客様のビジネスにお役立ていただけそうな場合にはこちらまでご連絡ください。
fime.com または、[contact sales@fime.com](mailto:contact_sales@fime.com)までお待ちしております。

